

# 書窓

## Shoso

No.430

2021.3

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鰯

1310 番地 7

Tel (079)277-1580

Fax(079)277-5684

### 子どもの本だな 88

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

#### ブレーメンのおんがくたい

ハンス・フィッシャー エ せた ていじ やく (福音館書店)  
 年をとって仕事ができなくなり、えさをも  
 らえなくなったロバは、ブレーメンの町の音  
 楽隊にやとってもらおうとでかけました。途  
 中、犬、猫、おんどりも仲間になり、日が暮れ  
 る頃、森にさしかかりました。森の中にはあか  
 りのともった家があり、家の中では、泥棒たち  
 がご馳走を食べていました。おなかをすかせ  
 た4匹は、泥棒を追い出すために、ロバの上  
 に犬が乗り、犬の上に猫が乗り、猫の上におん  
 どりも乗って、叫び声をあげながら家の中にな  
 だれ込みました。泥棒たちは驚いて、森に逃げ  
 ていきました。4匹は残ったご馳走をどっさ  
 り食べて眠りにつきましたが、しばらくする  
 と、泥棒が家に戻ってきました…。

4匹が協力して泥棒を家から追い出し、楽  
 しそうにご馳走を食べる様子が、色鮮やかな  
 絵でユーモラスに描かれています。森の家に  
 落ちつき、安心して眠る4匹の姿に満足を感じ  
 ます。読んでもらえば4～5歳から楽しめる  
 でしょう。(光藤)

#### くまのパディントン

マイケル・ボンド 作 ベギー・フォートナム 画 松岡 享子 訳 (福音館書店)  
 ブラウン夫妻は、車で「どうぞこのくまのめんど  
 うをみてやってください」という札を下げた小さな  
 クマを見つけます。マーマレードが大好きなこのク  
 マはパディントンと名づけられ、ブラウン家で暮らす  
 ことになりました。

ある日パディントンは、奥さんと百貨店に出かけま  
 した。パディントンは間違えてショーウィンドウの中に入り  
 こみ、飾ってあった品物の山を崩してしまいます。  
 元通りにしようと、缶詰を積み、その上にガラス板  
 を乗せ、洗い桶を重ね…。外の通りでは見物人が  
 応援しています。パディントンが最後の缶詰を乗せた  
 とき、ぐらぐらしていた山は、またがらがらとくず  
 れました。警備員がかけつけますが、支配人はパディ  
 ントンのおかげで店が大繁盛したと喜び、お礼に特大  
 のマーマレードをくれました。(「百貨店での出来事」)  
 パディントンの行く先々で騒動が起こりますが、持  
 ち前の愛嬌と機転で、うまく切り抜けます。天真爛  
 漫で何事にも前向きなパディントンが、ユーモアたっ  
 ぷりに描かれています。シリーズ全10巻の1巻目。  
 9～10歳から。(池田)

3月	4月	3・4月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
11日	8日	塚森 地域内 10:30～ 10:50	沖代 地域内 11:00～ 11:20	福地(三反長) 地域内 14:30～ 14:50	米田 公会堂 15:00～ 15:20	竹広南 公民館 15:30～15:50
18日	15日			原池団地 公民館 15:00～ 15:20	山田 掲示板前 15:30～ 15:50	原 太田東地区農村交流センター 16:00～16:30 (4月より16:00～16:20)
25日	22日	広坂 公民館 10:30～ 10:50	上太田 公民館 11:00～ 11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30～ 15:50	吉福 公民館 16:00～16:30 (4月より16:00～16:20)

**<お知らせ>**

**絵本の時間・おはなしの時間**  
 3月の「絵本の時間」「おはなしの時間」の日程をお知らせします。  
 (一部、規模を縮小して行います。)

■「絵本の時間」  
 ・3月4、11、18、25日の木曜日  
 ・11:00～11:30

■「おはなしの時間」  
 ・3月6、13、20、27日の土曜日  
 ・11:00～11:30  
 ・対象:4歳～中学3年生

【注意】  
 ①人数が多い場合は、**人数を制限**させていただきます。  
 ②おはなしの部屋に入る時は、**マスクの着用**をお願いします。

『ギヴ・ミー・ア・チャンス 犬と少年の再出発』 大塚 敦子 著

講談社 203頁 2018年9月刊 1,300円 (請求記号) 327.8

2014年、千葉県の八街(やちまた)少年院で、保護犬を訓練する「GMAC(ジーマック)プログラム」が誕生した。GMACとは「Give Me a Chance」 「ぼくにチャンス」の頭文字。「ぼく」は少年であり、「犬」であり、両者共に生き直すチャンスを与えることだ。このプログラムは、少年たちが、犬と信頼関係を築きながら、責任感、思いやり、忍耐を学び、社会復帰のきっかけを掴んでもらうことを目指している。少年たちの手で家庭犬となるように基本的な訓練を受けた犬たちは、希望する家庭に引き取られる。

訓練者のリヨウは、育ての父の暴力により、自身の感情を表現することができない。人への不信感が根深く、自身の考えを変えることを嫌う。ペアとなった犬は、こうと決めたら指示を聞かず、テコでも動かなくなってしまう。リヨウには、犬との絆づくり、犬に諦めることを教える課題が出された。訓練の中で、リヨウは犬との絆を築くために試行錯誤し、頑なな心と向き合うことで、自身の未来を見据えるようになった。また、週末に犬を預かってくれたボランティア家庭と日誌を介して交流をしたことで、自身の成長を感じ、3ヶ月間の訓練のサポートに感謝した。その後、リヨウは更生し、出院後の人に就労の機会を提供する協力雇用主になった。少年たちの良きアドバイザーになるに違いない。人に心を開かず無表情だったリヨウは、このプログラムで自身の熱い想いを外に出すようになった。

著者は、国際紛争の取材や人間と動物の絆を書いた本など多数出版。アメリカの刑務所などで、保護猫を人と暮らせるようにするプログラムも取材した。動物は、人の心の扉を開く重要な役割を果たしてくれる。矯正の現場に、動物を介在した取り組みが広がっていくことを心から願っている。締めくくっている。本書は少年の更生が主に書かれているが、動物愛護についても強く訴える内容となっている。(盛岡)

＜紙バッグ工作教室＞

絵本のジャケット(カバー)で紙バッグを作ろう!

- ・日時: 3月13日(土)・20日(土)  
①14:30 ②15:00 ③15:30
- ・場所: 太子町立図書館 児童室
- ・対象: 小学生以上(要申込)
- ・定員: 各回1組 ※1組は1~3名
- ・参加費: 無料
- ・持ち物: あれば、持ち手にしたいひもやリボンなど。
- ・申込: 太子町立図書館
- ※定員になり次第、締め切ります。詳しくは図書館まで。

3月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	<del>2</del>	3	4	5	6
7	8	<del>9</del>	10	11	12	13
14	15	<del>16</del>	17	18	19	20
21	<del>22</del>	<del>23</del>	24	25	26	27
28	29	<del>30</del>	<del>31</del>			

4月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	<del>6</del>	7	8	9	10
11	12	<del>13</del>	14	15	16	17
18	19	<del>20</del>	21	22	23	24
25	26	<del>27</del>	28	29	<del>30</del>	

\*×印は休館日(3/22、4/30は祝日の振替、3/31は館内整理日)

\*開館時間は10:00~18:00、金曜日は20:00まで開館

地下水

3ヶ月前の11月、右側頭部周辺を激痛が襲った。はじめは軽度だった痛みも徐々に酷くなり、1週間もたたないうちに薬も効かなくなった。頭皮・頭・耳・奥歯・首・肩:あまりの痛みと体が震え、涙が出る。日に日に頭皮はぼろぼろになり、今度は全身に水疱が出た。様々な診療科を渡り歩きやっとわかった病名は「带状疱疹」。水疱瘡になった人なら誰でもなりうる病気だ。この病名を聞いたとき、少し前に同じく発症した利用者のKさんの顔が浮かんだ。痛くて辛いという話を、大変だなと思いつつもどこか他人事のように聞いていたが、まさか自分がかかるとは…。結局1ヶ月近くも仕事を休み、3ヶ月以上たつた今も頭皮に違和感と痛みが残る。

図書館にある带状疱疹の本を借り、もっと早く読みたかったなと思いつつながら読むと、原因に疲れやストレスなどからの免疫力低下とあり、思わず免疫力や健康の本を手にとった。病気は年齢に関係なくいきなり襲ってくる事を再認識した出来事だった。(池之上)